

大阪大会に79人が参加、初の全員参加型の情報交換会を開催

講演会で丸二倉庫の新「全社的常時スタッフ最適配置システム」を紹介

は、国土交通省総合政策局物流政策課物流産業室総括課長補佐の平山翔吾氏が倉庫関連政策と政策立案過程について説明。丸二倉庫（本社・大阪市西区、湯川秀男社長）のINNOVATION推進本部業務部の国分明課長が「新『全社的常時スタッフ最適配置システム』の実現」

は、国土交通省総合政策局物流政策課物流産業室総括課長補佐の平山翔吾氏が倉庫関連政策と政策立案過程について説明。丸二倉庫（本社・大阪市西区、湯川秀男社長）のINNOVATION推進本部業務部の国分明課長が「新『全社的常時スタッフ最適配置システム』の実現」



ワールドカフェ方式の情報交換会

イー・ロジステクス

倉青協のチャーターメンバーで第6代会長を務めた西尾倉庫（大阪市北区）の西尾忠朗社長は、倉青協が発足間もない時期に有志で国際総連の大会に参加したことなどを振り返った。また、倉庫業のめまぐるしい環境変化を説明しながら「。なあなあ。でそのままにしておくのでなしに、（経営者は）早く気づく必要がある」と指摘した。

この後、講演会が行われた。

国交省の平山氏は、倉庫税制、物流拠点の低炭素化促進事業、災害に強い物流システム構築事業、倉庫に関する主な支援制度等について背景や考え方、目的を解説。税制改正要望について「業界にとって良いことだけれど民間企業、個々の判断ではできないことを我々は後押ししたい。夢物語的なことでいいので教えてほしい」と語った。

丸二倉庫の国分氏は、日本ロジスティクスシステム協会（JILS）の2014年度ロジスティクス大賞業務改革賞を受賞した論文「STAFF R&DII. (HIGHLY COMPETITIVE LOGISTICS SYSTEM by marums」STAFF R&D II.」新「全社的常時スタッフ最適配置システムの実現」の作成者。

国分氏によると、同社では従業員の多能工化による生産性の向上を目指し、従業員の8割超を占める約1300人のパート一人ひとりの業務の習熟度を見える化し、管理者が容易に進捗よく管理を行えるシステムを構築。従業員の習熟度に応じ適切な職場に効率的に配置できるようにし、習熟度のデータベースを活用し全社的な応援体制、他事業所への支援が可能なスタッフの最適配置を可能とした。

丸二倉庫の湯川社長は「パートの方々に当社やお客様のために前向きに仕事をしていただく企業風土、社風をどうつくるかが大事。それがないければ絵に描いた餅になってしまう」と指摘。ロジステイクス大賞の受賞について「営業やリクルートにも役に立ち、社員にとっても励み、刺激になる。見えない部分で効果がある」と語った。